

水泳の池江さんから学ぶこと

今日の朝は久しぶりに冷え込みました。卒業生がこの学舎を後にして約1カ月が経ちますが、3年生の皆さんと一緒に生活した時の朝のような一日の始まりでした。

学力検査(高校入試)期間も含めた休業が昨日で終わり、今日から新学年としてスタートを切る皆さん、進級おめでとうございます。さあ、今日から新しい学年での生活に適応して目指す自己実現に向けて努力していこう。

話はかわりますが、2日前に行われた水泳の日本選手権で池江璃花子選手(21)が100メートルバタフライ決勝で1位となり、東京オリンピックのメドレーリレーの代表に内定しました。皆さんも知っているとは思いますが、池江選手は高校3年の1月、突然白血病に襲われ、長い闘病生活を経て、今から数カ月前に競技に復帰しました。白血病は「血液のがん」ともよばれ、かつては「不治の病」と言われていましたが、医療の進歩で現在は治療する可能性も高まっているといわれています。しかしそんな重い病を患いながら、競技に対する信念を曲げずに治療の苦痛と闘い、厳しいトレーニングに立ち向かって五輪出場権を勝ち得た池江さんには敬意の念を抱かずにはおれません。競技をテレビ観戦し、感動をもって記者会見に聞き入っていた人も多かったと思います。その会見で池江さんは「(闘病という)困難が自分を強くした」ということを話しています。困難に向き合うことは決して楽ではないけれど、立ち向かうことで自分が強くなる、ということを教えてくれています。

池江さんと同じ世代を生きる皆さんにとって、池江さんの言葉はどう響きますか。今まで目標としていたことが実現不可能ではと思って(あるいは誰かから言われて)、諦めていませんか? 特に3年生の皆さんは今年、受験を迎えます。自分自身をどうデザインし、どう自己実現を遂げるか。その過程にある困難をどう克服していくか。2年生にとっても同じです。3年生より1年間の時間がありますが、自分の目標をなるべく到達できるか、できないかの高い位置に設定し、それに向かって早めに対応していこう。そして、自己実現へのためまない努力を発揮する場に立った時、「困難が自分を強くした」と胸を張って言えるようにしてほしいと願っています。



今春卒業生の進路状況(合格状況) *下表は進学先統計です

コロナ禍と大学入試制度改革に翻弄された今春の卒業生でしたが、自らの信念を貫き努力しました。卒業生がとった進路先一覧を昇降口渡り廊下のホワイトボード、進路指導室前の掲示板に掲示しました。

	四年制大学		短期大学		専門・各種学校			就職	その他	卒業総数
	国公立	私立	国公立	私立	国公立	医療看護系	その他			
令和2年度	2	73	0	25	2	14	42	10	22	190
令和2年度比率	39.5%		13.2%		30.5%			5.3%	11.6%	100%

※国公立大学現役合格は、3名(北海道教育大、愛知県立芸術大学2)。過年度生は東京藝術大学に2名合格しました。

進路指導係職員紹介 令和3年度の進路指導係職員を紹介します。よろしくお願ひします。下線は進路室常駐です。

〔主任〕坂口俊夫(社会科) 〔副主任〕黒澤博幸(国語科) 〔3学年〕松崎 晃(国語科) 宮島淳子(英語科)

〔2学年〕丸山雄三(社会科) 齋藤広踏(情報科) 〔1学年〕山浦良人(数学科) 荻原萌花(国語科) 田村 裕(英語科)